個別施設整理番号	008-1	林道台帳索引番号	8	施設管理者	藤枝市
路線名	霜平線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	城山橋
施設の所在地	藤枝市大字瀬戸ノ谷字西宮沢	起点からの距離	0.000 km	建設年度	1987
供用年数	33	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	昭和55年道示	規格(設計荷重)	TL-14	橋下条件	滝/谷川

	施設の規模	橋長(支間長)		18.00m(17.40m)	幅員(車道幅員)	5.00m(4.00m)						
				H形鋼(合成)									
		上部工型式	鋼製(使	用鋼材)	SMA50AW他	塗装使用の有無	無						
施	施設の構造等		支承	型式	鋼製支承	落橋防止の有無	有						
設概		橋台工型式		重力式	忧橋台	基礎形式	不明						
要		橋脚工型式				海岸からの距離	200mを超える						
	施設の目的 利用実態等	林道霜線の利用区 組合等により頻繁 有しており、地域に	に利用され	ている。	また、当該林道は近	〈存在することから、 丘隣地域を結ぶ生活	当該施設は森林 道としての機能も						
	点検診断日	2019年11月1	19日										
施設の出	調査結果	堅壁に土砂堆積、 が見られる。	地覆に漏る	水·遊離石	「灰、防護柵に腐食	、防食機能の劣化、	舗装にひびわれ						
状態等の	健全性の 診断結果	(健全)	橋の機能	に支障は	生じていない。								
概要	劣化原因	堅壁の土砂堆積は	の土砂堆積は排水不良、防護柵の腐食は経年劣化によるものと推察される。										
	計画期間												
長#	内容												
長寿命化計	実施予定時期												
画の内容	施設の優先度	(優先度の	(優先度の考え方)										
	対策費用 (概算)												
管理方法	管理方法		数なものであることから、5年に1回の定期点検を行い、損傷の進行の有無の確認、 「橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。										

		令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
ĺ	対策費用(百万円)										
ĺ	対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

○健全性の判定区分

:道路橋の機能に支障が生じていない状態

個別施設整理番号	017-1	林道台帳索引番号	17	施設管理者	藤枝市
路線名	峠線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	び〈石新橋
施設の所在地	藤枝市大字瀬戸ノ谷字広ガイト	起点からの距離	0.100 km	建設年度	1994
供用年数	26	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	平成2年道示	規格(設計荷重)	TL-20	橋下条件	瀬戸川

	施設の規模	橋長(支間長)	34.2)m(33.40m)	幅員(車道幅員)	7.20m(5.00m)						
				鋼	桁橋							
		上部工型式	鋼製(使用鋼材	t) SMA490AW他	塗装使用の有無	無						
施	施設の構造等		支承型式	鋼製支承	落橋防止の有無	有						
設概		橋台工型式	逆	T式橋台	基礎形式	直接基礎						
要		橋脚工型式			海岸からの距離	200mを超える						
	施設の目的 利用実態等	林道峠線の利用区 組合等により頻繁 			多〈存在することから、	当該施設は森林						
	点検診断日	2019年10月3	31日									
施設の出	調査結果	床版にひびわれ、 食機能の劣化が見		れ、不法占用、伸縮	装置に変色・劣化、防	う護柵に腐食、防						
状態等の	健全性の 診断結果	(健全)	橋の機能に支降	は生じていない。								
概要	劣化原因	床版、下部工のひ	版、下部工のひびわれは、建設時に発生した初期不良だと推察される。									
	計画期間											
長#	内容											
長寿命化計	実施予定時期											
画の内容	施設の優先度	(優先度の	(優先度の考え方)									
	対策費用 (概算)											
管理方法	管理方法		・機能に支障が生じるほどの損傷は認められないため、5年に1回の定期点検にて損傷の 「の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。									

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

○健全性の判定区分

:道路橋の機能に支障が生じていない状態

個別施設整理番号	013-1	林道台帳索引番号	13	施設管理者	藤枝市
路線名	田島沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	田島沢2号橋
施設の所在地	藤枝市岡部町大字宮島	起点からの距離	1.600 km	建設年度	1971
供用年数	48	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢

	施設の規模	橋長(支間長)		15.50m(15.10m)	幅員(車道幅員)	4.80m(4.00m)					
					H形鋼	(不明)						
		上部工型式	鋼製(使	用鋼材)	不明	塗装使用の有無	有					
施設	施設の構造等		支承	型式	鋼製支承	落橋防止の有無	無					
設概		橋台工型式		重力式	式橋台	基礎形式	不明					
要		橋脚工型式				海岸からの距離	200mを超える					
	施設の目的 利用実態等	林道田島沢線の利 森林組合等により				が多〈存在することフ	から、当該施設は					
	点検診断日	2019年10月3	81日									
施設の出	調査結果					、床版に剥離・鉄筋 劣化、袖擁壁に沈 ⁻						
状態等の	健全性の 診断結果	(予防保全段階)	橋の機能 が望まし		生じていないが、う	⁵ 防保全の観点から	措置を講ずること					
概要	劣化原因		桁の遊間異常、伸縮装置の凹凸は建設時に発生した施工不良、各所の腐食は地覆からの い水、湿気および塗装皮膜の経年劣化、袖擁壁の傾斜は基礎地盤の脆弱化によるものと推 される。									
	計画期間											
長	内容	塗装塗替工等の補	i修、遊間	異常の経	過観察等の措置を	行なう。						
長寿命化計	実施予定時期											
画の内容	施設の優先度	(優先度の	(優先度の考え方)									
	対策費用 (概算)											
管理方法	管理方法		、路面お	よび橋座に	面の清掃等維持作)、5年に1回の定期 業を適切に行う。ま						

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

○健全性の判定区分

個別施設整理番号	013-2	林道台帳索引番号	13	施設管理者	藤枝市
路線名	田島沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	田島沢1号橋
施設の所在地	藤枝市岡部町大字宮島	起点からの距離	1.000km	建設年度	1972
供用年数	48年	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

	施設の規模	橋長(支間長)	12.50	m(12.10m)	幅員(車道幅員)	4.40m(3.60m)				
				H形鍋	(不明)					
		上部工型式	鋼製(使用鋼材	7明	塗装使用の有無	無				
施	施設の構造等		支承型式	線支承	落橋防止の有無	無				
設概		橋台工型式	重	力式橋台	基礎形式	不明				
要		橋脚工型式			海岸からの距離	200mを超える				
	施設の目的 利用実態等	林道田島沢線の利森林組合等により		期に整備すべき森林 ている。	が多く存在すること	から、当該施設は				
	点検診断日	2020年9月10	6日							
施設の出	調査結果	主桁、横桁、支承部	部に腐食、袖擁雪	に沈下·移動·傾斜、	床版との衝突、欠損	員が見られた。				
状態等の	健全性の 診断結果	(予防保全段階)	橋の機能に支際 が望ましい。	は生じていないが、	予防保全の観点から	括置を講ずること				
概要	劣化原因		桁、横桁、支承部の腐食は地覆からの伝い水、湿気および塗装皮膜の経年劣化、袖擁壁の下・移動・傾斜、床版との衝突は基礎部の洗堀または基礎地盤の脆弱化によるものと推察さる。							
	計画期間									
長寿	内容	袖擁壁天端の断面	ī修正工、 塗装塗	替工等の補修が考え	られる。					
命化計	実施予定時期									
画の内容	施設の優先度	(優先度の*	考え方)							
	対策費用 (概算)									
管理方法	管理方法		、路面および橋	傷は認められないた。 座面の清掃等維持作 対策を行う。						

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備考

○健全性の判定区分

個別施設整理番号	号 015-1	林道台帳索引番号	15	施設管理者	藤枝市
路線名	的沢線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	的沢1号橋
施設の所在地	藤枝市岡部町大字新舟	起点からの距離	0.000km	建設年度	1972
供用年数	48年	種別	鋼橋	型式	鋼H桁橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

	施設の規模	橋長(支間長)	11.4	14m(11.00)m	幅員(車道幅員)	4.20m(3.60m)					
					H形鋼	(不明)						
		上部工型式	鋼製(使用鋼	材)	不明	塗装使用の有無	無					
施設	施設の構造等		支承型式		パッド型ゴム支承	落橋防止の有無	無					
概		橋台工型式	重	力:	忧橋台	基礎形式	不明					
要		橋脚工型式				海岸からの距離	200mを超える					
	施設の目的 利用実態等	林道的沢線の利用 林組合等により頻! 				多〈存在することから	5、当該施設は森 					
	点検診断日	2020年10月2	2日									
施設の出	調査結果	主桁、支承部に腐	承部に腐食、基礎に洗掘が見られた。 									
状態等の	健全性の 診断結果		橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずるこの 防保全段階)が望ましい。									
概要	劣化原因		E桁·支承部の腐食は橋座面の滞水による塗装皮膜の経年劣化、橋台基礎の洗掘は大雨 こる増水が原因だと推察される。									
	計画期間											
長寿	内容					断面減少が顕著な う腐食は取替え工等						
命化計	実施予定時期											
画の内容	施設の優先度	(優先度の	(優先度の考え方)									
	対策費用 (概算)											
管理方法	管理方法	橋の機能に支障が 進行の有無の確認 点から必要に応じる	、路面および構	喬座[面の清掃等維持作)、5年に1回の定期 業を適切に行う。また	点検にて損傷の た、予防保全の観					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備考

○健全性の判定区分

	個別施設整理番号	001-1	林道台帳索引番号	1	施設管理者	藤枝市
	路線名	高尾線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	無名橋
ĺ	施設の所在地	藤枝市瀬戸ノ谷伊賀畑	起点からの距離	0.400km	建設年度	1963
ĺ	供用年数	57年	種別	RC橋	型式	単純床版橋
ĺ	道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

	施設の規模	橋長(支間長)		6.18m(5.78m)	幅員(車道幅員)	4.05m(3.60m)				
					RC単純	床版橋					
		上部工型式	鋼製(使用	鋼材)		塗装使用の有無					
施設	施設の構造等		支承型	过	不明	落橋防止の有無	無				
概		橋台工型式		不	明	基礎形式	不明				
要		橋脚工型式				海岸からの距離	200mを超える				
	施設の目的 利用実態等	林道高尾線の利用 林組合等により頻 能も有しており、地	緊に利用され	れている	。また、当該林道は	多〈存在することから は近隣地域を結ぶ生	5、当該施設は森 :活道としての機				
	点検診断日	2020年9月1	16日								
施設の状	調査結果	舗装に舗装の異常	(わだち)・:	土砂詰ま	きりが見られた。						
態等の	健全性の 診断結果	(予防保全段階)	橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずるこの 保全段階)が望ましい。								
概要	劣化原因	 工事用車両や重機 	・ ・重機等の通行による輪荷重の繰り返しが原因だと推察される。								
	計画期間										
長寿	内容	清掃等維持管理力	ぎえられる	0							
命化計	実施予定時期										
画の内容	施設の優先度	(優先度の	(優先度の考え方)								
	対策費用 (概算)										
管理方法	管理方法	進行の有無の確認	の機能に支障が生じるほどの損傷は認められないため、5年に1回の定期点検にて損傷の 行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。また、予防保全の観 なから必要に応じ補修を行うなどの対策を行う。								

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備考

○健全性の判定区分

個別施設整理番号	001-2	林道台帳索引番号	1	施設管理者	藤枝市
路線名	高尾線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	細尾沢橋
施設の所在地	藤枝市瀬戸ノ谷伊賀畑	起点からの距離	1.000km	建設年度	1981
供用年数	39年	種別	PC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

	施設の規模	橋長(支間長)	1:	2.00m(11.40m)	幅員(車道幅員)	4.80m(4.00m)				
					PCプレテンショ	ン方式床版橋					
\ <u></u>		上部工型式	鋼製(使用銀	鋼材)		塗装使用の有無					
施設	施設の構造等		支承型	式	帯状ゴム支承	落橋防止の有無	無				
概		橋台工型式		重力	式	基礎形式	不明				
要		橋脚工型式				海岸からの距離	200mを超える				
	施設の目的 利用実態等	林道高尾線の利用 林組合等により頻 能も有しており、地	繁に利用され	ている	。また、当該林道は	多〈存在することか! は近隣地域を結ぶ生	5、当該施設は森 ∈活道としての機 				
	点検診断日	2020年10月	3日								
施設の状	調査結果	下部構造の竪壁に	.鉄筋露出、 ^比	也覆に	うきが見られた。						
態等の	健全性の 診断結果	(予防保全段階)	橋の機能に が望ましい。	支障は	生じていないが、う	予防保全の観点から	措置を講ずること				
概要	劣化原因	竪壁の鉄筋露出に る。	その鉄筋露出は被り不足、地覆のうきは車両等による防護柵への衝突が原因だと推察さ								
	計画期間										
長寿	内容	断面修復工等の補	修が考えられ	れる。							
命化計	実施予定時期										
画の内容	施設の優先度	(優先度の*	(優先度の考え方)								
	対策費用 (概算)										
管理方法	管理方法	進行の有無の確認	機能に支障が生じるほどの損傷は認められないため、5年に1回の定期点検にて損傷の 「の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。また、予防保全の観 いら必要に応じ補修を行うなどの対策を行う。								

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備考

○健全性の判定区分

個別施設整理番号	004-1	林道台帳索引番号	4	施設管理者	藤枝市
路線名	谷稲葉線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	大沢橋
施設の所在地	藤枝市谷稲葉上島	起点からの距離	0.400km	建設年度	2000
供用年数	20年	種別	鋼橋	型式	鋼鈑桁橋
道路橋示方書	平成8年道示	規格(設計荷重)	A活荷重	橋下条件	河川

	施設の規模	橋長(支間長)		16.10m((15.40m)	幅員(車道幅員)	4.80m(3.60m)				
					鋼単純	鈑桁橋					
		上部工型式	鋼製(使)	用鋼材)	SM490AW	塗装使用の有無	無				
施	施設の構造等		支承	型式	パッド型ゴム支承	落橋防止の有無	有				
設概		橋台工型式		盛りこに	ずし橋台	基礎形式	場所打杭				
要		橋脚工型式				海岸からの距離	200mを超える				
\	施設の目的 利用実態等	林道谷稲葉線の利森林組合等により				が多〈存在することフ	から、当該施設は				
	点検診断日	2020年10月2	2日								
施設のは	調査結果	舗装に路面の凹凸	が見られ	た。							
状態等の	健全性の 診断結果	(健全)	橋の機能に支障は生じていない。								
概要	劣化原因	特になし。									
	計画期間										
長寿	内容										
命化計	実施予定時期										
画の内容	施設の優先度	(優先度の	の考え方)								
I	対策費用 (概算)										
管理方法	管理方法	損傷は軽微なもの 路面および橋座面	であること の清掃等	から、5年 維持作業	Eに1回の定期点検 を適切に行う。	を行い、損傷の進行	の有無の確認、				

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備考

○健全性の判定区分

個別施設整理番号	004-2	林道台帳索引番号	4	施設管理者	藤枝市
路線名	谷稲葉線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	舟合橋
施設の所在地	藤枝市谷稲葉上島	起点からの距離	0.500km	建設年度	2000年度
供用年数	20年	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	平成8年道示	規格(設計荷重)	A活荷重	橋下条件	河川

	施設の規模	橋長(支間長)	1	0.10m	(9.50m)	幅員(車道幅員)	5.05m(3.85m)				
					H形鋼(非合成)					
		上部工型式	鋼製(使用釒	岡材)	SM400AW	塗装使用の有無	無				
施	施設の構造等		支承型式	Ť.	パッド型ゴム支承	落橋防止の有無	有				
設概		橋台工型式	豆	強りこに	ぼし橋台	基礎形式	場所打杭				
要		橋脚工型式				海岸からの距離	200mを超える				
	施設の目的 利用実態等	林道谷稲葉線の利森林組合等により				が多〈存在することだ	から、当該施設は				
	点検診断日	2020年9月16	6日								
施設のは	調査結果	主桁に遊間の異常	、支承本体に	変形:	が見られた。						
状態等の	健全性の 診断結果		橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずる。 が望ましい。								
概要	劣化原因	その他の部材に損	に損傷に損傷が確認出来ないことから、建設初期の不良だと推察される。								
	計画期間										
長寿	内容	経過観察等の措置	返過観察等の措置を行う。								
命化計	実施予定時期										
画の内容	施設の優先度	(優先度の	考え方)								
	対策費用 (概算)										
管理方法	管理方法	橋の機能に支障が 進行の有無の確認 点から必要に応じる	、路面および	「橋座」	面の清掃等維持作)、5年に1回の定期 業を適切に行う。ま	点検にて損傷の た、予防保全の観				

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備考

○健全性の判定区分

個別施設整理番号	004-3	林道台帳索引番号	4	施設管理者	藤枝市
路線名	谷稲葉線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	二両橋
施設の所在地	藤枝市谷稲葉上島	起点からの距離	0.600km	建設年度	2000年度
供用年数	20年	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	平成8年道示	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

	施設の規模	橋長(支間長)		12.10m(11.50m)	幅員(車道幅員)	5.02m(3.82m)				
					H形鋼(非合成)					
		上部工型式	鋼製(使用	調綱材)	SM400AW	塗装使用の有無	無				
施	施設の構造等		支承型	过	パッド型ゴム支承	落橋防止の有無	有				
設概		橋台工型式		盛りこに	ぼし橋台	基礎形式	場所打杭				
要		橋脚工型式				海岸からの距離	200mを超える				
	施設の目的 利用実態等	林道谷稲葉線の利森林組合等により			に整備すべき森林だいる。	が多〈存在すること〉	から、当該施設は				
	点検診断日	2020年9月1	6日								
施設の出	調査結果	床版に床版ひびわ	れ·漏水·遊	空離石 灰	、排水管に変形・久	で損、土砂詰まりがり	見られた。				
状態等の	健全性の 診断結果	(予防保全段階)	橋の機能に が望ましい		生じていないが、予	5防保全の観点から	措置を講ずること				
概要	劣化原因	床版の漏水・遊離 因だと推察される。	遊離石灰は橋面防水の不良、排水管の土砂詰まりは配管の取り回しの悪さか れる。								
	計画期間										
長寿	内容	床版のひびわれ、 ついては、取替え	えている。 近のひびわれ、漏水・遊離石灰は軽微であるため経過観察、排水管の欠損・土砂詰まりに いては、取替え工等による補修が考えられる。								
命化計	実施予定時期										
画の内容	施設の優先度	(優先度の ³	考え方)								
	対策費用 (概算)										
管理方法	管理方法	進行の有無の確認	の機能に支障が生じるほどの損傷は認められないため、5年に1回の定期点検にて損傷の 行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。また、予防保全の観 から必要に応じ補修を行うなどの対策を行う。								

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備考

○健全性の判定区分

個別施設整理番号	005-1	林道台帳索引番号	5	施設管理者	藤枝市
路線名	大樽線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	無名橋
施設の所在地	藤枝市瀬戸ノ谷見行事	起点からの距離	0.800km	建設年度	1972年度
供用年数	48年	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

	施設の規模	橋長(支間長)	1	14.00m(13.66m)	幅員(車道幅員)	4.30m(3.60m)				
					H形鋼	(不明)					
		上部工型式	鋼製(使用	鋼材)	不明	塗装使用の有無	有				
施設	施設の構造等		支承型	式	パッド型ゴム支承	落橋防止の有無	無				
概		橋台工型式		重力	力式	基礎形式	不明				
要		橋脚工型式				海岸からの距離	200mを超える				
	施設の目的 利用実態等		繁に利用さ∤	っている	る。また、当該林道は	多〈存在することか! は観光施設へのアク					
	点検診断日	2020年10月	3日								
施設の状	調査結果	主桁、支障部に腐 予防保全の観点か				出、下部工躯体に隙	剝間が見られた。				
態等の	健全性の 診断結果	(予防保全段階)	橋の機能に が望ましい。		生じていないが、う	5防保全の観点から	措置を講ずること				
概要	劣化原因)腐食は湿気・滞水による塗装皮膜の経年劣化、床版、下部工の鉄筋露出はだと だと推察される。 橋台堅壁の隙間は初期不良の可能性がある。								
	計画期間										
長寿	内容	の経過があり、進	面修復工、塗装塗替工等の補修が考えられる。下部工躯体の隙間は、損傷発生から時間 経過があり、進展のおそれも小さいことから経過観察とし、状況に応じ大型車・重機の通行 限等の措置が望ましい。								
命化計	実施予定時期										
画の内容	施設の優先度	(優先度の	の考え方)								
	対策費用 (概算)										
管理方法	管理方法	進行の有無の確認	こ支障が生じるほどの損傷は認められないため、5年に1回の定期点検にて損傷の 無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。また、予防保全の観 でに応じ補修を行うなどの対策を行う。								

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備考

○健全性の判定区分

	個別施設整理番号	007-1	林道台帳索引番号	7	施設管理者	藤枝市
	路線名	大久保線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	ろんでざわ橋
Ī	施設の所在地	藤枝市瀬戸ノ谷見堂平	起点からの距離	0.000km	建設年度	1982年度
Ī	供用年数	38年	種別	PC橋	型式	床版橋
Ī	道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

	施設の規模	橋長(支間長)		13.50m(12.90m)	幅員(車道幅員)	4.80m(4.00m)				
					PCプレテンショ	ン方式床版橋					
		上部工型式	•	用鋼材)		塗装使用の有無					
施設	施設の構造等		支承	之型式	帯状ゴム支承	落橋防止の有無	無				
概		橋台工型式		不	明	基礎形式	不明				
要		橋脚工型式				海岸からの距離	200mを超える				
	施設の目的 利用実態等	林道高尾線の利用 林組合等により頻! 能も有しており、地	繁に利用	されている	。また、当該林道は	多〈存在することから は近隣地域を結ぶ生	5、当該施設は森 :活道としての機 				
	点検診断日	2020年10月2	2日								
施設の場	調査結果	排水管に腐食が見	られた。								
状態等の	健全性の 診断結果		橋の機能 が望まし		生じていないが、う	予防保全の観点から	措置を講ずること				
概要	劣化原因	 経年劣化が原因だ 	化が原因だと推察される。								
	計画期間										
長寿	内容	排水管の腐食につ	非水管の腐食については、取替え工等による補修が考えられる。								
命化計	実施予定時期										
画の内容	施設の優先度	(優先度の	考え方)								
	対策費用 (概算)										
管理方法	管理方法		、路面お	よび橋座	面の清掃等維持作	り、5年に1回の定期 業を適切に行う。また					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備考

○健全性の判定区分

個別施設整理番号	011-1	林道台帳索引番号	11	施設管理者	藤枝市	
路線名	海谷線	林道種類及び区分 自動車道3級		橋梁名	無名橋	
施設の所在地	藤枝市瀬戸ノ谷海谷沢	起点からの距離	0.000km	建設年度	1974年度	
供用年数	46年	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋	
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川	

	施設の規模	橋長(支間長)	1	14.10m(13.47m)	幅員(車道幅員) 4.20m(3.60m)			
	施設の構造等		H形鋼(不明)						
		上部工型式	鋼製(使用鋼材)		不明	塗装使用の有無	有		
施			支承型	式	パッド型ゴム支承	落橋防止の有無	無		
設概		橋台工型式	重力式		力式	基礎形式	不明		
要		橋脚工型式	海岸からの距離 200						
~	施設の目的 利用実態等	林道海谷線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多〈存在することから、当該施設は森 林組合等により頻繁に利用されている。							
	点検診断日	2020年9月1	316日						
施設の出	調査結果	主桁・横桁・支承部・地覆に腐食が見られた。床版に剥離・鉄筋露出が見られた。							
状態等の	健全性の 診断結果	(予防保全段階)	橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。						
概要	劣化原因	 各鋼部材の腐食は塗装の経年劣化、床版の鉄筋露出は被り不足が原因だと推察される。 							
	計画期間								
長寿	内容	断面修復工、塗装塗替工等の補修が考えられる。							
命化計	実施予定時期								
画の内容	施設の優先度	(優先度の*	(優先度の考え方)						
I	対策費用 (概算)								
管理方法	管理方法	橋の機能に支障か 進行の有無の確認 点から必要に応じ	🔍 路面およる	び橋座i	面の清掃等維持作)、5年に1回の定期 業を適切に行う。また	点検にて損傷の た、予防保全の観		

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備考

○健全性の判定区分